

国営讃岐まんのう公園マネジメントビジョン2050（概要版）

マネジメントビジョン2050に向けての現状と課題			マネジメントビジョン2050			
公園の活性化に向けた課題	公園を取り巻く社会情勢	公園が果たすべき役割	コンセプト	ビジョン実現に向けた取組方針	各ゾーンの目指すべき姿	
満濃池や地域と連携した公園のブランディング	Well-beingの追求 - Well-being（生活の質）を追求し、自然豊かな環境や生活重視のライフスタイルを求める人々が増えている - コロナ禍以降は、ワークスタイルも多様化し、地方移住やワーケーション等に関する地方自治体の取組も活発化している	特別なレクリエーションや、人々の活動機会を提供する - 利用者への特別なレクリエーションの提供 - 公園内の活動者への多彩な活動機会の提供 - 地域の人々にとって誇りに思える場所になる	空海や「まんのう」とともに、人・地域の活力を未来につむぐ	いかす 「ここでしかできないこと」がたくさんある公園に 方針 - まんのう公園特有の自然・歴史・文化を活かして、遠くからでも、わざわざ足を運びたいような体験や価値を提供する - 戦略的なマーケティングや情報発信により集客力を向上する 目標 - 公園の認知度の向上 - 景観・園芸等の質の向上	（中央広場ゾーン） 見どころ満載！四国の魅力あふれるメインエントランス - 心惹かれる景色や、広々とした開放的な空間を満喫できるゾーンに - 地域の魅力を活かした食事や買い物も楽しめるゾーンに 	
	ネイチャーポジティブの浸透 - 自然生態系を回復軌道に乗せるネイチャーポジティブの考え方が、世界共通の目標として浸透しつつある - 子どもたちの健全な成長・発達に寄与するような、自然（山や森）や生き物（動物や花）と触れ合う体験活動が必要とされている	自然と人の接点となり、自然生態系を育む - 讃岐の山の恵みや、山と人の関係を紐解く - 降雨の少ない讃岐地方における生命の水への感謝を表現 - 自然と共生する里山の暮らしを現代の人の手で伝承		つくる 多彩なレクリエーションを創り出すことができる公園に 方針 - これまでまんのう公園への関心が薄かった層も呼び込むことができるコンテンツを盛り込む - 利用者が、より楽しく、快適に過ごすことのできるサービスを向上し、園内消費を促す 目標 - サービス向上・消費機会の拡大 - 地域産業等への貢献	（健康ゾーン） 楽しい体験がいっぱい！花にあふれたアクティビティゾーン - ファミリーが楽しめる遊具やアクティビティを集約し、思いっきり遊べるゾーンに - 四季折々の花々や満濃池・讃岐平野への広がりを活かし、ここにしかない体験ができるゾーンに 	
	観光・旅行形態の多様化 - 香川県では国際定期路線の利用者数が回復し、インバウンドの旅行消費単価も高いことから経済効果が期待されている - インバウンドをはじめ、地域コミュニティの支援や新しいスポットの開拓などのニーズがあり、受入側もこれらのニーズへの対応が必要となっている	地域固有の魅力を育て、発信する - 千三百年続く満濃池の歴史と文化を承継 - 四国ならではの魅力を発信 - 新たな価値観・ライフスタイルの提案		つなぐ みんなの声を取り入れて大切なものをつなげる公園に 方針 - 運営スタッフ、ボランティアの声を取り入れ、更新投資の最適化や自然環境の保護・再興を図る - 周辺の関係者と共に満濃池の保全・活用を図る 目標 - 施設更新の最適化 - 自然環境の保護・再興	（自然活用ゾーン） みんなで讃岐の自然と里山を語り紡いでゆくゾーン - 生きとし生けるものに五感でふれあい、自然とのつながりを体感できるゾーンに - 里山の伝統的な暮らしや営みを、創造的に後世に継承していくゾーンに 	
利用ニーズを捉えたメリハリのある更新投資					（宿泊ゾーン） レッツアウトドアライフ！ 思い通りのアウトドアが満喫できるゾーン - 多彩なアウトドアライフが楽しめるゾーンに - 他のゾーンとも連携して、退屈することなく充実した休暇が過ごせるゾーンに 	
					（湖畔ゾーン） 満濃池の新たな一面を探索していくゾーン - 雄大な満濃池の魅力を体感でき、満濃池の名勝としての価値向上に貢献できるゾーンに - 空海をはじめとする歴史をテーマとした体験の創出や、満濃池周辺の回遊性を高めることで、多くの人が訪れるゾーンに 	
					（環境保全ゾーン） 多種多様な森林の利活用を実践していくゾーン - 豊かな自然を活かし、利用者が足を踏み入れたいゾーンに - 散策路の陰しきや整備状況を分かりやすく案内し、安全性と利便性を両立するゾーンに 	